

交

い

かいじあむ通信
kai

第61号

2025年2月14日発行
山梨県立博物館

長篠合戦図屏風(部分)
犬山市指定文化財
犬山城白帝文庫蔵
展示期間 3/15~4/7

山梨県立博物館

Yamanashi Prefectural Museum



20 博物館
山梨県立
Anniversary

愚将？名将？

武田勝頼の人物像に迫る！



天目山勝頼討死図



高天神城を落とした勝頼について、織田信長は「勝頼は若いながら油断ならない敵である」と言っています。

「油断ならない」
当時の武将からの評価は？



長篠合戦図屏風（部分、大山市指定文化財、犬山城白帝文庫蔵）展示期間 3/15～4/7

勝頼は長篠での敗戦後、家臣団や軍事力の再編、外交などを積極的に進め、父信玄の時代に匹敵する広さの領国を築いたと考えられています。

長篠の戦いで
敗戦によって
武田氏は
衰退していった？

さらなる情報は
特別展で！

山梨県立博物館 開館20周年記念特別展・山梨放送 開局70周年記念

日本に隠れなき弓取 武田勝頼

令和7年 3月15日^土～5月6日^火

武田信玄の後継者となった武田勝頼については、近年、評価の見直しが進められ、新たな勝頼像が提示されるようになりました。本展では、武田勝頼の合戦として著名な長篠合戦や、新たな居城として築かれた新府城^{しんぷじょう}など、勝頼の事績や関連資料から生涯を振り返るとともに、その人物像に迫ります。

長篠合戦図屏風（部分、大山市指定文化財、犬山城白帝文庫蔵）展示期間 3/15～4/7





信玄も勝頼もいるんだよ!

かいのくに せつくかさ
甲斐国オリジナルの節供飾り

「おかぶと」 江戸時代末期～明治時代

「おかぶと」あるいは「カナカンブツ」と呼ばれる端午の節供飾りです。山梨独自の飾りであるとともに、端午の節供飾りの初期を残したものと考えられ、全国的にも貴重な資料です。飾りは、武者や役者、天狗などの顔をあらわしたメン(面)と、鎧を着たような胴体(よろい)をあらわすタレ(垂れ)によって構成されています。

名前の由来は?

「おかぶと」

よらいゆびと かぶと
鎧兜の「兜」が語源



「カナカンブツ」

「かみのかぶと(紙の兜)」
が訛ったものか

かみのかぶと
→ かんのかぶつ
→ かなかんぶつ?

どうやって飾ったの?



古くは、支柱に吊るし、外から見えるように縁側などに飾ったと言われていました。その後、家のなかで鴨居に掛けて飾るようにもなりました。

『東見草紙』宝暦2年(1752)に描かれた「おかぶと」

信玄と勝頼の見分け方は?



信玄
ぎょろりとした大きな目



勝頼
切れ長の目の貴公子風

どちらも兜に武田菱



どうやって作られているの?

メン(面)

紙を何層にも貼り合わせて胡粉(白い顔料)で塗り固め、乾いたらはがして色を塗って仕上げています。



タレ(垂れ)

ボール紙を切り抜き、縁にこよりを貼って補強し、胡粉と色を塗って仕上げから糸でつなぎ合わせています。

どこで買えるの?

残念ながら製造は明治時代に絶えてしまったため、今は買うことができません。博物館や資料館で展示される機会をご覧ください。

この期間に
会える!

2025年
4月23日～6月16日
常設展「道がつなく出会い」コーナー



強すぎる信玄の威光!

こうしゅうきん

甲州金 (福寺遺跡出土資料) 戦国時代

江戸時代の甲斐国では「甲州金」が使用されました。甲州金は甲斐国独自の制度である「甲州三法」のひとつとされ、江戸時代頃から、武田信玄が制定したものと主張されました。

甲州金のはじまり

戦国時代の甲州金は、重さで価値を計る秤量貨幣でした。金を溶かして固めたままの形をしていたため、碁石金や蛭藻金などと呼ばれました。江戸時代になると、甲州金は大きさや形、質が整えられ、定額のお金として使用されました。



碁石金

蛭藻金

甲州金と武田信玄

甲州金は、大判・小判などの高額なお金と違い、壹朱・貳朱など小額で便利なお金として使用されていました。甲州金が、江戸時代半ばに幕府によって廃止されかけたとき、甲斐の人々は、その利便性や武田信玄に由来する制度であるなどと主張して免れました。

この期間に会える!

2025年
2月19日～4月21日

常設展「道がつなく出会い」コーナー

甲州金が由来!?

「太鼓判を押す」

いちぶぎん
一分金
江戸時代



甲州金の「いちぶぎん」には、価値を保証するために縁をめぐる点が付けられています。これが太鼓の皮留めに似ていることから、慣用語「太鼓判を押す」の由来となりました。

常設展

テーマ展示

県立博物館では、約2か月ごとにテーマを変えて、常設展の展示替えをしています



「山梨の春は、桃と桜と信玄公」

2025.2.19(水)～4.21(月)

桜舞う春の中、山梨ゆかりの戦国武将、武田信玄に関する資料をご紹介します。

「争いと人々」

2025.4.23(水)～6.16(月)

戦いや喧嘩、裁判、仲裁にいたるまで、争いに関する資料をご紹介します。

「資料でめぐる山梨の旅」

2025.6.18(水)～8.18(月)

展示室の資料をめぐってワクワクの山梨の旅に出発!

「世界遺産 富士山」

2025.8.20(水)～10.20(月)

日本が世界に誇る富士山に関する資料をご紹介します。

2025年度 企画展・シンボル展 展覧会の名称は変更になる可能性があります。

シンボル展 甲府空襲 2025.5.24(土)～6.30(月)

昭和20年(1945)7月6日深夜から7日未明にかけて、甲府の市街地はB29爆撃機からの焼夷弾によって焦土と化し、1000名以上が犠牲となりました。戦後80年の節目にあたり、甲府空襲について焼夷弾や関連資料で振り返り、地域や個人にとっての戦争はどのようなものだったのかをみなさまとともに考えます。



「米機の撒いたビラ」(当館蔵)

開館20周年記念特別展 みんなのクルマ展 2025.7.12(土)～9.1(月)

古くから交通の結節点だった山梨では、様々な人や物資、文化が行き交いました。その流れとスピードを大きく変えたのが「クルマ」でした。クルマは時代の流れの中で庶民の「足」になる一方で、「憧れ」の対象や「未来」の象徴でもあり続けました。本展では各時代のクルマをご紹介します。クルマと私たちの未来の関係を考えます。



内田宏撮影「昭和30年代 昇仙峡ですれ違う馬車と車」(当館蔵)

開館20周年記念特別展 甲州財閥展 2025.10.11(土)～12.1(月)

電力や鉄道など「わが国最初の〇〇事業」を数多く手掛け、私たちの生活の基盤を築いた甲州財閥。本展では、甲州財閥と呼ばれる人々の足跡を紹介し、その業績が現在に与えた影響を明らかにします。また、現在の私たちへの示唆となるような、彼らの活躍の原動力となった視点や哲学にも迫ります。

シンボル展 INDEN—受け継ぐ手わざ、異国の薫り— 2026.1.2(金)～2.23(月)

遠く奈良時代、海を越えて日本にもたらされた装飾革の技法は、時を超えて現代に受け継がれました。「印伝」製品は伝統的工芸品(昭和62年)および山梨県郷土伝統工芸品(平成6年)に指定され、山梨の土産品としても人気を博しています。この展覧会では、「印伝」の技法や歴史、魅力についてご紹介します。

開館20周年記念特別展 山梨の禅宗文化 2026.3.14(土)～5.6(水)

鎌倉時代以降、山梨で展開した宗教の中でも、禅宗は蘭溪道隆が来甲し、室町幕府で重用された夢窓疎石やその弟子たちが活躍するなど、その関わりが深さで知られています。本展では、禅僧らがもたらした教えや、禅宗に関わる書画・彫刻などの芸術作品を通して、山梨で展開した豊かな禅宗文化についてご紹介します。

イベントのご案内 2025年4月～9月

各イベントの詳細は当館ホームページなどでご確認ください。

● ボランティアによる お庭の見どころガイド

四季折々の博物館のお庭を散策します。
開催日 4/19、5/17、6/21、7/19、8/16、9/20
時間 13:30～14:30

● かいじあむ古文書講座

初めて古文書を読む方のための講座です。
開催日 4/26、6/28、8/23
時間 13:30～15:00
申込 055-261-2631

● 古文書整理体験教室 定員10名

開催日 6/12
申込 055-261-2631 *4/12より受付を開始します。

● 古文書相談日

お手持ちの古文書についてご相談ください。
開催日 5/18、7/20、9/21
時間 10:00～13:00
*古文書の全文解読、鑑定など、お受けできない内容もあります。
*申込不要ですが、事前のご連絡があれば対応がスムーズです。(055-261-2631)

⊕ あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば

展示や歴史を楽しみながら学べる体験イベントです。
常設展スルーガイド
常設展のガイドツアーです。
土曜日(交互に開催) 11:00～11:30
「あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば」と「常設展スルーガイド」は交互に開催いたします。詳細な日程はホームページなどでご確認ください。

● かいじあむ子ども工房

博物館ならではの体験や工作ができます。
開催日 5/10、7/12、9/13

● 館長トーク

当館の守屋正彦館長による講座です。
開催日 5/24、7/26、9/27
時間 13:30～15:00

□ その他イベント

- かいじあむ こどもまつり 5/4・5
- 夏休み自由研究プロジェクト合同プレゼン 7/21(海の日) *会場:アイメッセ山梨
- かいじあむの夏まつり 8/15

2025年

4月							5月							6月									
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土			
			1	2	3	4	5					1	2	3			1	2	3	4	5	6	7
6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14			
13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21			
20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28			
27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31	29	30								

7月							8月							9月								
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土		
			1	2	3	4	5						1	2			1	2	3	4	5	6
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13		
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20		
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27		
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30	28	29	30						

武田勝頼 日本に隠れなき弓取 3/15～5/6

甲府空襲 5/24～6/30

みんなのクルマ展 7/12～9/1

- 休館日
- 館長トーク
- 古文書講座
- 古文書整理体験教室
- 古文書相談日
- 子ども工房
- お庭の見どころガイド
- その他イベント

日程や内容は事情により変更になることがあります。

かいじあむトピックス

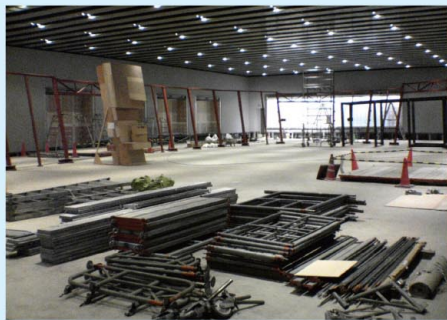
山梨県立博物館の旬な
話題をお届けします



ことし
県立博物館は
20周年

20 博物館
山梨県立館
Anniversary

山梨県立博物館(かいじあむ)は平成17年(2005)10月15日に開館し、この秋20周年を迎えます。かいじあむが生まれ、20歳を迎えるまで、県内外の多くの人々からさまざまなご期待やご支援をいただきました。この20年のあいだには、「どうそじん・ワンダーワールドーやまなしの道祖神祭りー」を皮切りに、およそ110の展覧会を実施し、訪れた人々はのべ200万人を超えております。富士山、信玄、郷土の先人たちなど、さまざまな歴史との出会いを築いてきました。みなさまにはどのようなかいじあむの思い出があるでしょうか。20周年にあたり、今春の特別展「武田勝頼 日本に隠れなき弓取」をはじめ、さまざまな記念事業を実施いたします。みなさまには新たな歴史との出会いや思い出をみつけに、かいじあむへお出かけいただきたいと思います。



常設展示室の展示工事風景



「どうそじん・ワンダーワールドーやまなしの道祖神祭りー」展示準備風景

利用案内

開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)

休館日 火曜日(祝日の場合はその翌日)

*5/7、9/17~19は休館。4/30、5/6、8/12は開館。

観覧料 常設展:一般520円、大学生220円

*高校生以下の方、65歳以上の方、障害者の方(およびその介護をされる方)は無料です。

*企画展には別途観覧料が必要です。県外在住の65歳以上の方は企画展観覧料が必要です。

*割引料金等につきましてはホームページなどで確認、またはお問い合わせください。

かいじあむ通信「交い」第61号 〒406-0801 山梨県笛吹市御坂町成田1501-1

Tel:055-261-2631 Fax:055-261-2632

E-mail:kenhaku@pref.yamanashi.lg.jp

URL:http://www.museum.pref.yamanashi.jp

発行日:2025年2月14日

編集・発行:山梨県立博物館



山梨県の古い国名「甲斐国」の語源は街道と街道の結節点を意味する「交ひ(かい)」であるという説があります。山梨県立博物館が「甲斐」の博物館にふさわしく、人々や情報の交流の拠点となることを願ってこの名前をつけました。

山梨県立博物館
ホームページ

